

# 商店街エコ化事業

## 施策のポイント

日本最大規模（商店街）となる太陽光発電パネル及びドライ型ミストの設置、さらに、商店街照明の高効率化の3つのハード整備事業を行い、これを生かしたハード・ソフト一体となった、日本一の「エコ商店街」を目指す。

### 自治体情報

大阪府吹田市

人口 / 351,493人

標準財政規模 / 67,772,672千円

担当課 産業労働にぎわい部産業にぎわい創造室

電話番号 直通06-6384-1356 代表06-6384-1231 内線2260

実施主体 JR吹田駅周辺まちづくり協議会

関連ホームページ <http://www.city.suita.osaka.jp/>

事業期間 平成21年度

参考とした施策

関係施策分類

## 施策の概要

### 1 取組に至る背景・目的

吹田市では、平成20年度に第2次環境基本計画を策定し、中期目標（2020年）として1990年比25%削減、長期目標（2050年）75%削減という高い目標を設定し、多様な主体が一体となって温室効果ガス削減に取り組む方向を示している。まちづくり協議会では、平成21年4月、自主独立した組織となったことを機に、市が最重要施策に位置づける「環境を守り育てるまちづくり」をキーワードに、商業者、地域住民及び行政が一体となってにぎわい再生に向けた商店街のブランド化構想の検討を進め、ロハスイベント開催などの取組を行ってきた。折しも、吹田市では、国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金を活用した事業として、ヒートアイランド現象が著しいJR吹田駅前商店街における商店街エコ化対策事業実施を決定した。まちづくり協議会は、平成21年7月3日に臨時総会を開催し、商店街エコ化対策事業の実施主体に名乗りを上げることを組織決定し、協議会内に商店街エコ化事業推進委員会を設置し、「JR吹田駅前商店街エコブランド創出構想」の策定に取り組むこととした。

### 2 取り組みの具体的内容

実態調査として、事業対象地のCO<sub>2</sub>排出推計量や商店街のにぎわい、活性化などの実態把握のため、気象観測、交通量、アンケートの3つの調査を行う。ハード整備事業として太陽光発電パネル、ドライ型ミスト、照明の高効率化の3つの事業を行う。太陽光発電パネル設置に伴う経済効果を原資としてエコ化基金を創設する。

### 3 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

太陽光発電パネルの計画数量は35.34kwで、期待される効果は電気代やCO<sub>2</sub>の削減などが期待される。ドライ型ミストはノズルを約1,000m設置し、商店街の気温低下が期待でき、各個店の電気代削減が期待される。照明の高効率化は、LED照明や高効率化の蛍光灯に交換し電気代削減やCO<sub>2</sub>を11,315(kg-CO<sub>2</sub>/年)の削減量が見込まれている。

### 4 現在までの実績・成果

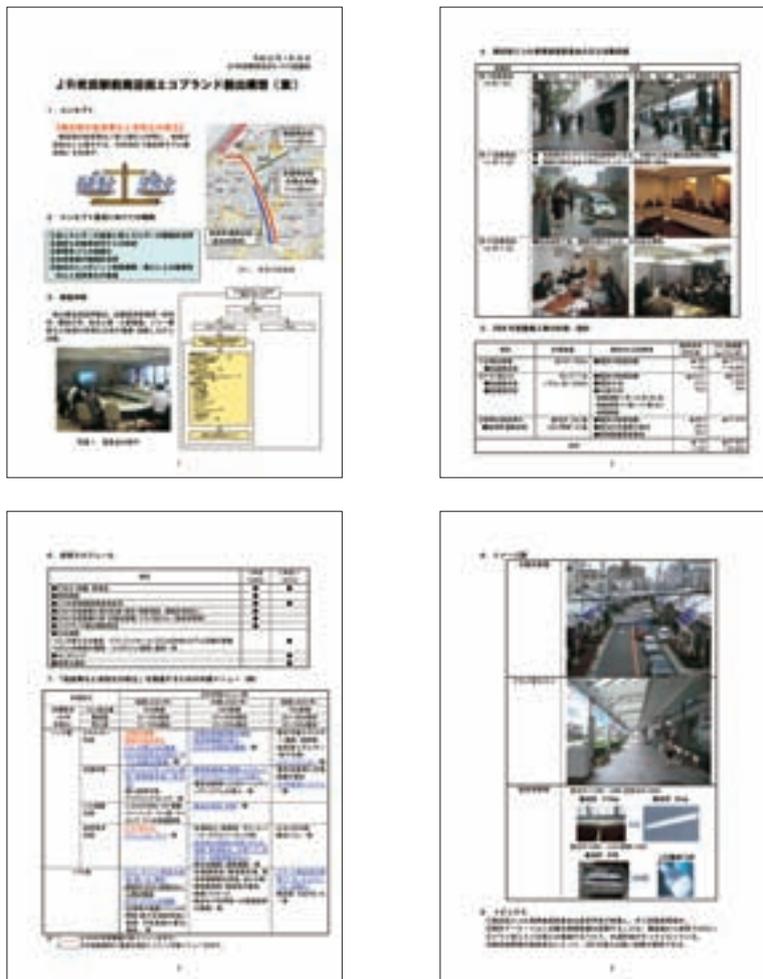
平成22年度に実績・効果を検証する。

## 5 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

商店街エコ化事業推進委員会を計 18 回開催し、意見調整を図り事業を進めてきた。

## 6 今後の展開と課題

JR 吹田駅前商店街を、日本を代表する「低炭素モデル商店街」と位置づけ、地元商店街、地域住民、民間企業、大学・研究機関など多様な主体が連携・協働することにより「商店街の低炭素化と活性化の両立」を目指したプロジェクトに取り組み、具現化するため、短期・中期・長期にわたる目標を設定し、目標達成のためのハード・ソフト一体となった対策メニューを掲げている。



### 予算関連データ

総額 ①～⑤の計		財源内訳 (財源区分: ①～⑤)				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
130,000 千円		130,000 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
①～④の名称、 所管など	名称	地域活性化・ 経済危機対策臨時交付金				
	所管	総務省				
	金額	130,000 千円				
	補助率	100%				

提供可能資料：JR 吹田駅前商店街エコブランド創出構想